

1 対象

小学校4年生～6年生、中学生

2 ねらい

インターネットやSNSは便利である一方、人権意識や情報モラルなどが不十分だとトラブルにつながりやすく、いじめなど人権侵害につながる可能性があることに気づき、人権意識を持って正しく使うことのできる力を育む。

3 準備するもの

○ワークシート

○動画 人権啓発動画「インターネットはヒトを傷つけるモノじゃない。」(MOJchannel/法務省)

①学校等でのSNSいじめ編 30秒バージョン <https://www.youtube.com/watch?v=JaplkaWWiWk>

②SNS・掲示板等での匿名の誹謗中傷編 30秒バージョン <https://www.youtube.com/watch?v=HNQt9Li22TA>

③SNS等での情報の拡散による誹謗中傷編 30秒バージョン <https://www.youtube.com/watch?v=HKbvnOJ6Rdw>

④著名人への誹謗中傷編 30秒バージョン <https://www.youtube.com/watch?v=v7IpQWSp49U>

※動画の二次元コードはP90に掲載

4 解説

これからの世の中においてインターネットは身近な存在としてあり続けます。インターネットを使っていく上で、利便性だけではなく危険性についても知り、人権侵害の加害者にも被害者にもならないためにどうしたらよいか、自ら考えながら使用する力を身に付けることが必要です。

「不適切な写真をSNSにアップしない」ことは理解しているはずなのに、「炎上」が起きてしまうのはなぜなのでしょう。 「知っている人しか見ないだろう」という安易な気持ちや、「不適切な写真」が何かということについて個々の認識のずれが考えられます。このワークでは、そのずれを認識し、自分の中の「当たり前」を疑うことを意図しています。その上で、普段、ネットを通じてつながることの多いクラスメイトが考える「当たり前」と自分の「当たり前」を比べ、お互いにとってよりよい使い方について考えます。

インターネットは、相手を思いやり、人権を尊重した発信が求められていることを理解した上で使用することが必要です。人権尊重の精神を涵養していくこととともに、インターネットやSNSなどの使い方についての話し合いやルールづくりを学校や家庭などで行っていくことが求められています。

5 教科などとのつながり

技術・家庭、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動 など

6 進め方(展開例) 45分または50分

時間	学習の流れ(活動・内容)	留意事項	資料など
導入 10分	<p>◆学習の確認(2分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業の流れや留意点の説明を聞く。 <p>◆アイスブレーキング(8分)</p> <p>「写真を公開する前に(1)」</p> <p>①どの写真をネットに公開したいと思うか、公開しても問題がないと思う順にワークシートの1に書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 授業の流れを説明する。 P4【学習の約束】を伝える。 4人程度のグループで行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート

	<p>②考えたことをグループや全体で共有する。</p> <p>③自分が気づいたことをワークシートの2に書く。</p>	<p>・正解を求めるのではなく、それぞれの考えを大事にする。</p> <p>・時間があれば、全体で共有する。</p>	
	<p>・自分とクラスメイトの「当たり前」が違うことに気づく。</p>		
展開	<p>◆アクティビティ1 (20分) 「写真を公開する前に(2)」</p> <p>①ネットに公開されたら「いやだな」と感じる写真をワークシートの3から選ぶ。</p> <p>②考えたことをグループや全体で共有する。</p> <p>③ネットで公開するときには、どのようなことに気をつければよいか考えてワークシートの4に書く。</p>	<p>・1つに絞れない場合は、複数選んでもよいことを伝える。</p> <p>・全体共有では、少数派の意見も積極的に紹介する。</p>	<p>・ワークシート</p>
	<p>・自分が考える「いやだな」と感じる写真と、クラスメイトが「いやだな」と感じる写真は違うことに気づき、その違いからトラブルが起きてしまうことをおさえる。</p>		
小学校 30分 中学校 35分	<p>◆アクティビティ2 (小10分、中15分) 「インターネットはヒトを傷つけるモノじゃない」</p> <p>①動画 (各30秒) を視聴する。</p> <p>②考えたことをグループや全体で共有する。</p>	<p>・人権啓発動画は4つある。クラスの実情に応じて選択する。</p> <p>・必要に応じて繰り返し視聴し、適宜補足する。</p>	<p>・動画</p>
<p>・インターネットの適切な使い方を学び、人権を意識した発信をすることの重要性をおさえる。</p>			
まとめ 5分	<p>◆まとめ (5分)</p> <p>・授業をとおして、わかったこと、考えたことをワークシートの5に書く。</p>	<p>・授業をとおして児童・生徒から出された考えをもとに、ねらいをおさえてまとめる。</p>	<p>・ワークシート</p>
<p>・一度ネット上に公開されてしまった情報は永遠に消えない。個人の不用意な発信が相手を傷つけることを理解し、相手の人権を意識しながらインターネットやSNSなどを使用していく。</p> <p>・ネット上で見かけたいじめなどの問題は、そのままにせず誰かに相談する。情報を拡散した場合は、自身が加害者になりえる。加害者にも被害者にもならないために、一人ひとりが人権感覚を高めることが必要である。</p>			

<参考資料など>

- ・「インターネットと人権侵害 (匿名の誹謗中傷～その現状と対策)」佐藤佳弘著 武蔵野大学出版会 (2016年1月)
- ・「デジタル・シティズンシップ コンピュータ1人1台時代の善き使い手をめざす学び」坂本旬、芳賀高洋、豊福晋平、今度珠美、林一真 著 大月書店 (2020年12月)

ちょっとまって、公開する前に ~気づく・感じる・考える~

()年 ()組 ()番 名前 _____

1 あなたなら、どの写真をネットに公開したいと思いますか。公開しても問題がないと思う順に左から並べてみましょう。



← 問題なし		→ 問題あり		

2 どのようなことに気づいたか、書きましょう。

3 あなたがネットに公開されたら「いやだな」と感じる写真を一つ選んでみましょう。

- ① ①自分の寝顔
- ② ②自分の変顔
- ③ ③自分の部屋
- ④ ④たまたま写り込んだ自分
- ⑤ ⑤食事時の自分

4 ネットで公開するときには、どのようなことに気をつければよいでしょうか。

5 授業をとおしてわかったことや考えたことを書きましょう。